

【参考】過去の採択されたプロジェクト事業名

1. 実施年度	2. プロジェクト事業名		事 業 計 画	
			3.目的	4.概要
2011年/平成23年度	① 持続可能な社会のための近未来ビークル勉強会		来るべき持続可能な社会で中心となる、近未来ビークル(EV・HEV・PHEV)とその普及を支える社会基盤について勉強会を開催し、知識の獲得と現状の課題を考える。	電気自動車を用いた近未来ビークルについて、現状及び今後の技術動向やそれを取り巻く社会の変革と将来像について、その実現に取り組む社会人OJBを講師に迎えて勉強会を開催する。また、すでに市販されているEVおよび学内で研究目的で試作された小型EVを試乗して運動性能を体感し、従来車と比較する。
	② もし岐大生が全共のシラバスを作ったら		岐阜大学生と先生が共に授業をつくることのできる環境を整える。	実際に、全学共通教育科目(前期開講科目)を受けた学生の声を集め、学生視点のシラバス補助資料を作成、公開する。この資料は、全学共通教育科目を選択する際、参考にして頂く。これにより、学生と先生の授業に対する目的を一致させ、学びやすい環境をつくる。
2012年/平成24年度	① 岐阜大学イルミネーション		① 本学の構成員である学生・教職員が楽しめるイルミネーションにする。 ② 犯罪抑止・防犯効果としての機能をイルミネーションに課す。 ③ 地域や学生の岐阜大学に対する興味・関心を引くとともに、地域へ岐阜大学をアピールする。	岐阜大学イルミネーション実行委員会では、昨年度まで学内の限られた場所で行われていたイルミネーションの範囲を構内全体に広げ、イルミネーションの点灯式および前期・後期日程試験日のイルミネーションの点灯を実施するプロジェクト「2012年度岐阜大学イルミネーション」を企画した。
	② 学生が集えるカフェ作り		店を経営するということを自らの体で学び、同時に学生が集える場の提供をする。	自分たちでキャンパス内にカフェを作り、経営していく。またそのカフェを、学生が夜に集い、深く物事を考えられる場所として開放できるようなカフェにする。
	③ やな学プロジェクト(やながせ×学生)		新しいネットワークの構築。岐阜大学生の基盤的能力の向上	柳ヶ瀬に拠点を構え、学生達が集える場所づくりを行う。岐阜大学と他大学の学生、学生と社会人など新しいネットワークの構築。また対話、議論を通じて岐大生の基盤的能力の向上を目的とする。加えて、柳ヶ瀬の地域活性化にも貢献する。
2013年/平成25年度	① 学生ボラネット		ボランティア活動をしように考えている岐阜大学生が、自分に合ったボランティア活動先を円滑に見つけ、参加できるように支援すること。	1. ぎふNPOセンターからの情報提供等をもとに、ボランティア活動をしように考えている学生と個別面談し、その学生に適したボランティア活動先を紹介する。学生ご円滑にボランティアに参加できるよう、ボランティア受け入れ団体との調整を行う。 2. 学生にボランティア活動の役割や意味を啓発・啓蒙するための講演会・グループワーク・イベント等の企画運営を行う。 3. 上記の相談窓口や開催イベントの周知を目的とした宣伝活動を行う。
	② 緑化活動(緑化サークルthree trees)		以前から行ってきた花壇作成等の緑化活動において、花の種類、株数を増加させ、より華やかにすることで岐阜大学の学生、職員、来客者の目を楽しませられる花壇を作成するため。	年間を通して進入路、図書館前、留学生センター前での花壇作成。ミドリのカーテン等の設置といった緑化活動を行う。
	③ 岐阜大学イルミネーション		① 本学の構成員である学生・教職員が楽しめるイルミネーションにする。 ② 犯罪抑止・防犯効果としての機能をイルミネーションに課す。 ③ 地域や学生の岐阜大学に対する興味・関心を引くとともに、地域へ岐阜大学をアピールする。	岐阜大学イルミネーション実行委員会は、昨年度のプロジェクトの反省を活かして、今年度は各サークルに設置作業を呼びかけ、イルミネーションツリーおよびイルミネーションアートを作り上げる。また、昨年度同様にイルミネーション関する広報活動を行うこと、前期・後期日程試験日のイルミネーションの点灯を実施することを計画している。
	④ 学生主体による大学と大学周辺の防犯パトロール・防災対策活動および訓練(学生保安消防隊)		岐阜大学構内だけでなく大学周辺の防災意識を高めるとともに、大学教職員と学生との懸け橋となれるよう連携をとり、大規模災害への対策や日常生活の安心安全に務め、地域の防災拠点となるべく対策活動及び訓練を行う。	近いうちに起きると言われている、南海・東南海沖大地震に備えるべく自主防災組織を学生が主体となって活動を行う。「自分たちの大学や街は自分たちで守る」という消防精神の基、主に地域にある消防団・大災害に備えた訓練や防災啓発活動(街頭広報や子供たち向けの防災講座など)を行う。また、地域の安心安全まちづくりの一環として防犯パトロールを行う。今後、青色回転灯を装着した車両によるパトロールも警察本部と検討中で、全国でも例が少ない学生主体による青パトに期待していたきたい。
2014年/平成26年度	① 学生ボラネット		主体的にボランティア活動をしように考えている岐阜大学生が、自分に合ったボランティア活動先に円滑に参加できるように支援すること。	1. ボランティア活動をしように考えている学生に適したボランティア活動先の紹介、ボランティア受け入れ団体との調整を行う。 2. 学生にボランティア活動の意味や役割を啓発・啓蒙するための講演会・グループワーク・イベント等の企画運営を行う。 3. 上記の相談窓口や開催イベントの周知を目的とした宣伝活動を行う。 4. フェアトレードの啓発活動、大学およびサークル連携の活動を始める。
	② 緑化及び景観美化活動(緑化サークルthree trees)		以前より取り組んできた花壇作成等の緑化活動において、さらに岐阜大学学生、職員、来客者の目を楽しませるために、四季に合わせた花や見せ方を向上していく。	8月～3月 進入路、図書館前、大学本部西側、留学生センター前、十六銀行黒野支店に花壇作成、緑のカーテン作成等の緑化・景観美化活動を行う。
	③ 学生主体による防災啓発イベント企画および大学周辺の防犯パトロール(学生保安消防隊)		本学および地域住民の防災意識を高めるべくイベント等の企画を通して防災啓発をおこなうと同時に、隊員の大規模災害対策の危機管理視点を養う。また、大学や周辺地域の防犯パトロールも行い防犯意識向上を図る。	岐阜大学の学生及び教職員の防災への意識はまだ高くはないと考える。そこで昨年度の活動を継続的に行うべく、防災啓発イベント等を積極的に行い岐阜大学関係者及び地域住民の防災意識をさらに向上させたいと考えている。また学生による自主防災組織としての前途の活動を通して、実際の災害時に本団体の隊員が率先して行動できる訓練につながる。その他、岐阜県安心安全まちづくり事業の一環として防犯パトロールを行う。また警察本部と検討中であるが青色回転灯を装着した車両によるパトロールを今年度には行う予定で更なる防犯意識向上の機会になると考える。
2015年/平成27年度	① 学生ボラネット		ボランティア活動をしように考えている岐阜大学生が、自分に合ったボランティア活動先を円滑に見つけ、参加できるように支援すること	1. ぎふNPOセンターからの情報提供等をもとに、ボランティア活動をしように考えている学生と個別面談し、その学生に適したボランティア活動先を紹介する。学生が円滑にボランティアに参加できるよう、ボランティア受け入れ団体との調整を行う。 2. 学生にボランティア活動の役割や意味を啓発・啓蒙するための講演会・グループワーク・イベント等の企画運営を行う。 3. 上記の相談窓口や開催イベントの周知を目的とした宣伝活動を行う。

	②	岐阜大学学生保安消防隊	岐阜大学関係者の防災意識を高めること、及び自身の防災に関する知識・経験を積み、いざとなったとき行動できるようにすること。	私たち学生保安消防隊は「岐阜大学関係者全員に『自分たちの大学は自分たちで守る』という意識を持ってもらうこと」を目標に防火・防犯・防災の3分野の意識啓発活動を行っている。定期的に開催している活動は週1回のミーティング、週2回の校内パトロールである。 また、隊員自身については防災についての知識・経験を積み、いざとなったとき行動できるようになることを目標とする。
2016年/平成28年度	①	学生ボラネット	主体的にボランティア活動をしように考えている岐阜大学生が、自分に合ったボランティア活動先に応援に参加できるように支援すること。	1.ボランティア活動をしように考えている学生に適したボランティア活動先の紹介、ボランティア受け入れ団体との調整を行う。 2.学生にボランティア活動の意味や役割を啓発・啓蒙するための講演会・グループワーク・イベント等の企画運営を行う。 3.上記の相談窓口や開催イベントの周知を目的とした宣伝活動を行う。 4.フェアトレードの啓発活動、大学およびサークル連携の活動を始める。
	②	岐阜県農産物の創造・発信・振興プロジェクト！	岐阜のイチゴ新品種「華かがり」を含めた「岐阜のいちご」の認知拡大	ワークショップ等を開催し、生産者と消費者の意見の橋渡しとする。 イチゴの話題性・広報力を持たせる為のアイディアを岐阜大学生から募集する。
	③	知ってもらおう！野鳥の災害を科学の力で解決！（GEM）	大学生や高校生に遺伝子組換え技術を知ってもらい、科学の進歩における利点と弊害を考え、高度専門職業人として生きる糧にする。また、独自で刺激的な活動ができることを広め、岐阜大学での活動の幅を広げるきっかけに繋ぐ。	大学生や高校生に遺伝子組換え技術に関する講演会・討論会を行う。 また、実際に遺伝子組換え技術を用いて、野鳥の災害対策に取り組み、成果を海外および学内において発表する。この一連の活動記録をまとめて書籍化し、大学内で講演を行う。
2017年/平成29年度	①	岐阜の日本酒広め隊！！	岐阜大学の学生や高校生を対象に遺伝子組換え技術について学んでもらい、最新の科学技術の可能性と同時にそれが伴う危険性について考える機会を設ける。また、大学の支援の元、独自で刺激的な活動ができることを広め、大学の課外活動に関する広報活動を行う。	大学生や高校生に遺伝子組換え技術に関する講演会・討論会を行う。 また、岐阜県産の日本酒の酒蔵を訪問、取材を行い、岐阜県産の日本酒産業を盛り上げていくような活動を行う。（岐阜県内の酒蔵に關してまとめた冊子の製作、杜氏を岐大祭へ招待し講演会を行う など）
	②	オープンキャンパス活性化ワーキンググループ	オープンキャンパスの全面改革	応用生命科学課程のオープンキャンパスの展示内容全面見直し、本WGを軸として3年を目標に学生が積極的に参加してもらえるOCCへとりこみ、リアルすることを目的としている。本課程での改革をテストワークとしゆくゆくは全学への応用を考えている。改革の目玉を「SNSを最大限利用した情報発信」とし、開催前後も楽しめるコンテンツの提供を企画している。展示内容に關しても改革を進め、今年は全体のフォーマット作りを目指し、学生主体・体験！・高校生・保護者目線をWG内のテーマとして定めている。
2018年/平成30年度	①	学生ボラネットによる放課後の過ごし方に対する支援活動	ボランティア活動という枠組みの中で小学生と関わりを持ち、地域社会(行政や企業など)との協働の中で将来につながるような放課後の過ごし方(具体的にはIoTに關する学生の指導)を提案する。	1.ボランティア活動をしように考えている学生に適したボランティア活動先の紹介、ボランティア受け入れ団体との調整を行う。 2.学生にボランティア活動の意味や役割を啓発・啓蒙するための講演会・グループワーク・イベント等の企画運営を行う。 3.上記の相談窓口や開催イベントの周知を目的とした宣伝活動を行う。 4.フェアトレードの啓発活動、大学およびサークル連携の活動を始める。
	②	のむゼミ ～月イチ ソーシャルLAB～	岐阜大学生の多くが社会の問題に關心が高いと感じたので、気軽に社会問題について考えることのできる機会を設けるため。また自分事として捉えることができるようになるため。	月に一度、毎回違うテーマを設定する。ゲストの方(岐阜大学の教授や、外部の専門家)を呼んで社会問題について講義を行っていただき、その問題について自分がどう行動できるかなどについてディスカッションしたり、思ったことや感じたことを共有したりする。
	③	応生ツイッターで青色に染めよう	昨年のプロジェクト採択により、課程SNS(ツイッター)を立ち上げた。今年は、ツイッターシステムの活性化～高校生への告知・学生による投稿推進・高校生と本学学生のコミュニケーション促進～を目的とする。最終目標としては、応用生命科学課程にてツイッターシステムを確立し、本学での新しい宣伝ツールとして展開する。	2017年に採択されたオープンキャンパス活性化ワーキンググループ(代表：森山章弘)に引き続き、ツイッターを活用する。具体的には、①ツイッターの内容を充実させる(研究室訪問、学生実験の動画など定期更新するコンテンツを作る)、②高校生の質問フォームを作成して、本学学生が直接回答する、③②の質問フォームのQRコードを記載したカードを高校生に配布する。
	④	動画配信サイトを用いた身近な生き物についての情報発信	身の回り自然を将来に残すため、その保全の第一歩として、その魅力や不思議について、多くの人に知ってもらうきっかけを作る。	身の回りの生き物を撮影し、その生物についての解説をつけて、動画にまとめ、YouTubeで配信する。